

内灘砂丘ボランティア

- * 設立 平成10年(1998年)9月、23年目になります。
- * 目的 内灘町の文化遺産を発掘、顕彰し、これを広く町内外に発信したいと考え、様々な活動に意欲的に取り組んでいます。

主な活動のひとつ

◎内灘砂丘フェスティバルのお手伝い

内灘砂丘フェスティバルは、1998年から内灘町で開催されているイベント。この内灘砂丘フェスティバルに携わるボランティアを1998年(平成10年)第1回内灘砂丘フェスティバルから行っています。内灘砂丘フェスティバルでは舞台を飾るオブジェの製作も行っています。残念ながら、内灘砂丘フェスティバルはコロナ禍で2年続けて中止となっています。



2年前中止になった砂丘フェスティバルオブジェ



Cultural Typhoon2021 のポスター

砂丘ボランティアもなかなか活動が出来ません。2021年6月27日(日)Cultural Typhoon2021「内灘闘争—風と砂の記憶—」展をめぐってというシンポジウムのパネリストとして参加する。

内灘町にある、歴史民俗資料館「風と砂の館」と内灘闘争当時の射撃指揮所、着弾地観測所の3か所に金沢美大の学生や講師の人たちの作品が展示されていましたが、それらの作品を制作した過程や作品に対する思いを聞きその後、5人のパネリストが順次話しました。登壇者は大学の先生で、内灘砂丘ボランティアは内灘町民としての参加でした。内灘闘争をアートを回路として引き受けていく可能性を探るという新しい取り組みで新鮮な体験でした。

今後は、毎年開催している内灘砂丘ボランティア文学講座を、今年度も開催を予定しています。講師は石川国立高専名誉教授・高島要先生です。

開催日時は、未定ですが、コロナパンデミックが少し落ち着いたら実施いたします。内灘砂丘ボランティアに関心のある方ご連絡ください。(Tel 076-286-2186 多田)